

平成13年度会務・会計報告



幹事長報告

幹事長 野本陽一

はじめに

平成13年度日弁幹事会は、そのスローガンを「21世紀への船出 天気晴朗なれども波高し」としました。プロパテントの旗印の下、知的財産に対する社会的評価が高まり、弁理士の活躍が一層期待されつつ、一方長引く産業界の不況と弁理士の大幅増員の要請を受け、我々弁理士を取り巻く環境は楽観できるものではありません。弁理士法を始め我々弁理士を取り巻く環境が大きく変動する中で、弁理士制度を日本の産業界の骨組みの中でしっかりと見極め、改善すべきは改善し、半面「変えてはならないこと」はしっかりと変えないことを認識することが求められております。このような厳しい認識にたつて、しかも我々弁理士が産業界の知的創造サイクルの重要な一翼を担いながら弁理士制度を更に発展させていくために弁理士の輪を一層緊密化し、研究研鑽を心掛けなければならないと考えるからであります。そのような観点から正副幹事長協議の上、スローガンを決めた次第です。

ところで本年度の日本弁理士会は、会長に連合クラブの擁立する「小池晃氏」が着任されました。氏とは永年の間、会派を超えて親しくご厚誼を頂いてきており、その力量と経験の深さをよく存じ上げておりましたので、大いに期待すると同時に日弁としても弁理士会会務を通して強力な支援と協力を行うこととしてまいりました。

活動報告

1. 本年度日本弁理士会の多くの活動の中で、もっとも特筆すべきは司法制度審議会の答申を受けて立法化の作業に入った「特許などの知的財産訴訟に関する、弁護士との共同訴訟代理についての

訴訟代理権を弁理士に認める」というテーマであります。もとより弁理士は、特許などの知的財産権に関する専門家であり、審決取消請求訴訟の代理や特許などの侵害についての対応は、弁理士の日常業務となっております。してみれば本来弁理士は、特許などの知的財産訴訟全般についての単独訴訟代理権を認められるべきである、との意見は多くの会員の共通した認識であります。しかしながらこのたびの訴訟代理に関する法律化の提案は、上記「司法制度改革審議会の答申」を受けてのものであり、とりあえずのステップとして法律化提案を受け入れることとしました。

またこの法律化に伴う弁理士の「能力担保措置」の内容がいろいろ議論され、特に研修時間や効果確認方法、更にこの代理権を取得した会員とそうでない会員とを弁理士制度の中でどのように取り扱うか、など種々の問題が解決されねばならず、これらの議論の中で日弁は殊に政策委員会の積極的活動を通して多大の貢献が出来ました。

日本弁理士会の会長が連合クラブに所属しておられる方でしたので、殊更に本年は連合クラブとの連携や協議が頻繁に行われ、中島淳連合クラブ幹事長との連絡が多かったようです。また西日本弁理士クラブから会長を推薦したい、とのお申し出を早々からお受けし、同クラブとの交流も多くありました。

2. 次に対内的活動ですが、まず日弁規約の見直しです。弁理士法改正を受け、会則が改正されましたが、新会則に日弁規約が整合していないとのご指摘があり、本年度日弁幹事会は、日弁規約改正の必要性の有無をも含め、現行規約の見直し作業を行いました。この作業は特に規約委員会ならびに政策委員会のご活動により、日弁規約の改正にこぎつけました。

また旅行会(軽井沢)、会報発行、その他の日弁行事も滞りなく行い、多くの会員の先生方のご参

加を頂きました。

3. 役員選挙に関しまして、本年は役員選挙制度が大きく改正され、選挙時期が3月から11月に変わっただけでなく、監事、総括副会長という新名称の役員、定数の変わった常議員、副会長など新しいものづくめとっていいほど大きく改正され、選挙対応に神経を使いました。協議委員会の先生方のご苦勞は推して知るべしであります。おかげさまで笹島会長候補、下坂総括副会長候補のほか日弁推薦の全役員候補を当選させることが出来ました。

むすびに

平成13年度日弁幹事会は日弁相談役、日弁副幹事長、幹事および日弁各委員会委員長・委員ならびに各派幹事長・幹事の会員の先生方に多くのご支援・ご協力を頂きました。ここに厚くお礼申し上げます。

平成13年度政策委員会報告

政策委員長 谷 義 一

平成13年度日弁政策委員会は、日弁幹事長の諮問を踏まえ、既に施行されている新弁理士法および会則等について、その運用の問題点を検討した。また、第2次法改正についても、弁理士の訴訟への関与がどうあるべきかについて検討してきた。さらに、新弁理士法に対応して、日弁の規約を見直す必要が生じたが、これを契機に、日弁と所属各会派との連携および渉外活動を含む日弁のあり方について検討し審議してきた。いずれも、正副会長会の活動が円滑に、かつ的確に進展することを念頭において取り組んだ。

活動に当たっては、検討課題を大きく4項目に分け、以下に示すような4つの部会で各課題を分担した。副委員長、委員諸先生のご協力に深く感謝致します。

[委員会構成]

委員長 谷 義一 (P A)

副委員長

小山 輝晃 (春秋) 渡邊 敬介 (P A)
浅賀 一樹 (南甲) 村上 友一 (無名)
委 員
春秋 : 浅井 賢治 大橋 良輔 奥山 尚一
木戸 一彦 藤村 元彦 妻鹿 恒雄
茂泉 修司
P A : 浅村 皓 鴨田 哲彰 小池 寛治
小林 生央 福田 伸一 福村 直樹
柳澤 孝成
南甲 : 石田 喜樹 川北 武長 金本 哲男
桑原 史生 河野 誠 藤沢 則昭
増田 竹夫
無名 : 江藤 聡明 下坂スミ子 菅原 修
高橋 俊一 筒井 大和 村橋 史雄
吉田 研二
稲門 : 木内 光春 西脇 民雄

[各部会の検討課題]

第1部会 部会長 : 小山 輝晃 (春秋)
「弁理士制度および日本弁理士会 (役員制度、選挙その他)」
第2部会 部会長 : 浅賀 一樹 (南甲)
「会員問題 (研修 (検定も含む) 特許法人、支所その他)」
第3部会 部会長 : 村上 友一 (無名)
「会員問題 (広告、報酬、倫理その他)」
第4部会 部会長 : 渡邊 敬介 (P A)
「日弁のあり方、特許法等の改正、その他」

[会合開催]

平成13年3月13日 正副委員長会
平成13年4月10日 第1回政策委員会 / 部会ごとの会合
平成13年4月24日 第1部会
平成13年5月14日 第4部会
平成13年6月6日 第4部会、規約委員会第1回合同会
平成13年6月29日 第1部会
平成13年8月21日 第1、第2部会第1回合同会
平成13年8月31日 第2回政策委員会 (拡大)
平成13年9月13日 第4部会、規約委員会第2回合同会



選挙対策委員会 (協議委員会) 報告

委員長 篠原 泰司

(1) 開催回数

協議委員会(拡大協議を含む)	6回
選挙対策委員会	2回
三派協議会	1回

(2) 委員会の構成

委員長	篠原 泰司(春秋)
副委員長	阿形 明(PA)
	吉田 維夫(春秋)庶務会計
	染谷 伸一(南甲)
	亀川 義示(無名)記録
	西脇 民雄(稲門)
委員	浅村 皓(PA:前半)
	小池 寛治(PA)
	福村 直樹(PA)
	福田 伸一(PA:後半)
	玉真 正美(春秋)
	木戸 一彦(春秋)
	畑中 芳実(春秋)
	伊藤 温(春秋)
	伊丹 勝(南甲)
	真田 有(南甲)
	僧野 兼世(南甲)
	八木 秀人(無名)
	小島高城郎(無名)
	津久井照保(無名)
	尾崎 光三(稲門)

(3) 審議の結論

各候補者の決定

会長	笹島富二雄(春秋)
総括副会長	下坂スミ子(無名)
副会長	村田 実(PA)
同	矢崎 和彦(無名)
同	伊藤 高英(春秋)

同	桑原 史正(南甲)
監事	稲木 次之(稲門)
同	穴戸 嘉一(春秋)
同	小野 尚純(PA)
常議員	浅村 皓(PA)
同	須田 正義(PA)
同	春日 譲(PA)
同	田島 壽(春秋)
同	沢田 雅男(春秋)
同	荒船 良男(春秋)
同	後呂 和男(春秋)
同	川井 隆(南甲)
同	村山 雅男(南甲)
同	富岡 潔(南甲)
同	羽鳥 亘(無名)
同	黒川 恵(無名)

(4) 選挙の結果

開票日	平成13年11月27日
会長選挙	無投票当選
総括副会長選挙	無投票当選
副会長選挙	無投票当選
監事選挙	無投票当選
常議員選挙	無投票当選

(5) 当選祝賀会

平成13年12月11日(火)午後6時
於 如水会館

(6) 日弁・連合東海地区懇親会

平成14年3月15日(金)12時35分
於 ホテルキャッスルプラザ

(7) 経過説明

本年度(平成14年度)は、新弁理士法下で行われる最初の役員選挙であり、従前に比べて、役員の種別、選出の時期、投票方法等に大きな変更があったため、戸惑いを感じながら、平成13年5月に第1回協議委員会を開催し、以来早いピッチで協議を重ねましたが、幸い各役員全員無投票当選という結果を得ることが出来ましたことに対し、委員はもちろん日弁幹事長はじめ各派関係者一同に心から厚く御礼申し上げます。

会長選挙については、西弁及び連合の共同推薦

をいただき、笹島富二雄候補が当選することが出来ました。

総括副会長選挙については、会長候補の場合と同様に、西弁及び連合の共同推薦をいただくことができ、下坂スミ子候補が当選することが出来ました。

副会長選挙については、当初から日弁4名、連合2名(同友1名、弁ク1名)、西弁1名の立候補者数の申告があったが、最終段階に至るまで状況の変化がなく、候補者全員が当選することが出来ました。

監事選挙については、当初日弁内で4名の可能性があったが協議の結果3名に落ち着き、連合1名、西弁1名の合計5名の立候補者数となり、候補者全員が当選することが出来ました。

常議員選挙については、当初日弁内で13名の可能性があったが協議の結果12名に落ち着き、連合5名、西弁3名の合計20名の立候補者数となった。しかし、三派以外から立候補の可能性があるとの観測があり、最終段階まで選挙必至で臨んだが、幸い他に立候補者がなかったため、全員当選することが出来ました。

今回の選挙結果は、以上のとおりであったが、投票は郵便による投票のみとなったため、今後選挙対策をどのようにしていくか、検討の必要があるのではないかというのが、報告に当たっての感想である。

以上

会報委員会報告

委員長 河原正子

平成13年度の会報委員会の構成並びに会合及び審議内容について、次のとおりご報告いたします。

(1) 委員会の構成

委員長 河原 正子(無名)
副委員長 磯野 富彦(PA)
同 西出 眞吾(春秋)
同 中田 和博(南甲)
同 須田 元也(無名)

同 永井 冬紀(稲門)
委員 高橋 和夫(春秋)
同 早川 裕司(春秋)
同 近藤 豊(南甲)
同 苫米地正敏(南甲)
同 須藤 雄一(無名)
同 菊池 桂子(稲門)
同 鴨田 哲彰(PA)

(2) 会合及び審議内容

第1回 6月14日 第1回編集会議

- (1) 幹事長の挨拶
- (2) 記事内容の検討・執筆者の決定
- (3) 記事担当の決定

第2回 9月4日 第2回編集会議

- (1) 原稿の収集報告
- (2) 原稿の確認
- (3) 表紙の決定

第3回 11月6日 第3回編集会議

- (1) 原稿の最終確認
- (2) 編集後記の作成
- (3) 会報発送の打合せ

第4回 3月26日 打上げ会

規約委員会報告

委員長 河野 誠

平成13年度の規約委員会の構成及び審議内容等につき、次の通り報告します。

1. 委員会の構成

委員長 河野 誠(南甲)
副委員長 川野 宏(PA)
古賀 哲次(春秋)
武政 善昭(南甲)
鮫島 信重(無名)
飯塚 義仁(稲門)
委員 山田 正紀(PA)
橋本 清(春秋)
山田 哲也(南甲)

田辺 良徳（無名）

高久浩一郎（稲門）

ホームページ委員会報告

2. 諮問事項

日弁規約の改正の必要性の検討と必要な場合における改正案の作成

3. 審議経過

諮問事項が重要度の高い政策的事項であり且つ政策委員会と重複しているため、同委員会との整合を図るため、規約改正に関する政策委員会の担当部会である第4部会と合同で当委員会を開催し、審議した。

(1) 第1回

開催日：平成13年5月14日（月）

会場：弁理士会館 会議室

審議事項： 諮問事項説明

規約改正の基本スタンスについて

規約の主な改正点

新弁理士制度に対応した役員推薦

基準の必要改正事項のリスト

アップ

(2) 第2回

開催日：平成13年6月6日（水）

会場：弁理士会館 会議室

審議事項：役員推薦基準暫定改正案作成

(3) 第3回

開催日：平成13年9月13日（木）

会場：弁理士会館 会議室

審議事項：規約全般の見直しと改正案の作成

(4) 答申及び答申内容の訂正等について

役員推薦基準については急を要するため先行審議し、暫定案を6月15日付で幹事長宛報告

全体の答申

平成13年10月1日

各派提出意見に基づく答申内容の第1回調整

平成13年12月11日

日弁相談役会での審議に基づく第2回調整

平成14年1月15日（最終答申）

(5) 規約改正案（最終答申内容）

委員長 久門 享

平成13年度のホームページ委員会の構成ならびに会合および審議内容について、次のとおりご報告致します。

(1) 委員会の構成

委員長 久門 享（PA）

副委員長 山崎 隆（春秋）

三上 結（PA）

中村 猛（南甲）

土井 健二（無名）

北野 好人（稲門）

委員 小林 良博（春秋）

光野 文子（春秋）

玉利 房枝（春秋）

西岡 邦昭（PA）

黒田 薫（PA）

篠田 哲也（南甲）

須藤 浩（南甲）

加藤 和彦（無名）

佐々木敦郎（無名）

小西 恵（稲門）

(2) 会合および審議内容

第1回 開催日時：平成13年6月12日

午後6時～8時

場所：弁理士会会議室

議事：HPの維持・管理、役割分担について

その他の審議内容：会報委員会との連携（HPへの記事の転載など）、会報をPDF化して掲載することの検討、新たに取得した汎用jpdメインの件など。

（上記会合以外に、随時、日弁HP委員専用の掲示板上でHPの維持・管理等について審議）

(3) ホームページの内容の主な更新

平成13年4月22日 トップページ更新（フレーム表示に変更）

平成13年 6月19日 H P 委員専用掲示板のパスワード変更

平成13年 6月19日 トップページ更新、「平成13年度幹事長ご挨拶（日本弁理士クラブ平成13年度幹事長野本陽一）掲載

平成13年 9月21日 お知らせ掲示板に政策委員会の報告書掲載

平成13年10月 9日 10月 1日の日弁例会の写真掲載

平成13年10月24日 平成14年度日本弁理士会役員定時選挙「立候補者の紹介」掲載

以 上

平成13年度会合行事記録

平成14年 4月25日

副幹事長 河 野 哲

[主な会合]

幹事会（拡大幹事会）	11回
正副幹事長会	5回
相談役会	4回
政策委員会	15回（各部会を含む）
協議委員会（拡大協議委員会）	8回
会報委員会	3回
規約委員会	4回
H P 委員会	会合 1回
	（H P 掲示板により随時）
役員選出懇談会	1回
総会	2回
臨時総会	1回
例会	4回

[その他会合]

三派協議会

平成13年 6月23日，9月 1日

連合弁理士クラブ旅行会

平成13年 9月 1，2日 伊東

西日本弁理士クラブとの懇談会

平成13年 4月13日 東京

[主な行事]

日弁旅行会

平成13年 6月23，24日 軽井沢

ゴルフ大会

平成13年 6月24日 軽井沢72ゴルフコース

日弁・連合同例会

平成13年 4月27日 弁理士会

日弁役員当選祝賀会

平成13年12月11日 如水会館

ボーリング大会

平成13年12月12日 田町ハイレーン

新年会

平成14年 1月18日 東商スカイルーム

日弁テニス大会

平成14年 3月 9日 朝日生命久我山スポーツセンター

連合役員当選祝賀会

平成13年12月 6日 第一ホテル東京

日弁・連合同東海地区懇親会

（現役員の慰労会及び新役員の激励会）

平成14年 3月15日 ホテル・キャッスルプラザ

西日本弁理士クラブ主催

現役員慰労会及び新役員激励会

平成14年 3月15日 ホテル日航大阪

平成13年度総会承認事項

第 1 回総会（平成13年 4月27日）

- (1) 平成12年度決算報告の承認を求める件
- (2) 平成13年度事業計画の承認を求める件
- (3) 平成13年度予算の承認を求める件
- (4) 平成14年度日本弁理士会役員の推薦及び日弁役員選出に関する件

第 2 回総会（平成13年10月 1日）

- (1) 平成14年度日本弁理士会役員候補者推薦に関する件
- (2) 選挙分担金改正の件

第 3 回総会（平成14年 1月18日）

- (1) 議長報告
- 平成14年度日本弁理士クラブ幹事長及び政策委

員長選任報告

(2) 議事

平成14年度日本弁理士クラブ副幹事長、幹事、
会計監事選任の件
規約改正の件

(3) 会務・会計・会計監査中間報告

今年度選挙対策委員会の残金を次年度収入に計
上すること

(文責 平成13年度副幹事長 古関 宏)

日弁特許制度研究会

幹事長 鷹 取 政 信

日弁特許制度研究会は日弁の先輩達によって1959年に設立されました。その後1度もその歩みを止めることなく、幾多の特許法等の改革を乗り越えてきました。

平成14年は、裁判所が認めるときは単独代理も可能とする弁理士に弁護士との共同侵害訴訟の代理権を付与する改正が成立し、平成15年の能力担保研修と国家試験の実施に向けて準備が進められ、今年は民法と民事訴訟法の基礎研修が大学で実施されていますので参加されている会員の先生方も多いと思います。そして今年の弁理士試験の合格者は466名と発表され、今年は弁理士人口が急激に増加した年でもあります。政府は知的財産戦略を国家戦略の重要な柱と位置付ける知的財産戦略大綱を7月13日に発表され、その中で言及された用語の統一として従来の工業所有権の言葉は狭い意味しかないので産業一般を広く含めるため「産業財産権」、「産業財産」の用語で統一使用することが決まりました。政府機関各省庁はできるところから随時に「工業所有権」から「産業財産権」、「産業財産」に変更して行く計画であると言っています。弁理士は国家施策の中心的位置を担おうとするまでになりました。このような環境と期待を受け我々弁理士は、基本的には自己研鑽に励み、自らの能力を向上させ、社会の期待に応えなければなりません。その為には、一人で勉強するよりも同じテーマに興味を抱いた者同士で研究会を開催

し、弁理士活動にとって必要な専門的知識を身につけていくことは益々重要なものとなっています。

我々知的財産保護の専門的法律職である弁理士は、出願代理だけでなく、常に時代のもたらす新しいニーズやウオッツに敏感に反応する専門的感覚に基づいたサービスが求められ、訴訟代理権が付与され後は、ますます知財に関する紛争解決のプロとして活躍しなければなりません。そのためにも感度の優れたアンテナを立てて情報収集と整理、より生きた情報の活用と提供を心がけ紛争解決の経験を積んで行きたい。このような気持ちで当研究会は実務的な面に焦点を当てつつ、弁理士業の経営までも含めた研究が行われています。

平成13年9月から平成14年10月までの実施テーマ等は次の通りでした。

平成13年9月は判例研究で配達船の形態の保護、ドメイン名の保護等の判決例、10月は、特許侵害事件の無効抗弁事例9件の研究、11月は休会、12月は、旅行会と研究会を箱根に行き「温泉テーマパークユニエッサン・ニューペガサス・イン」で開催しました。研究会は平成14年に予定されている特許法・商標法等の改正動向について行いました。

平成14年1月は裁判所が侵害訴訟で審理する無効理由の判断傾向の分析と特許権侵害と虚偽陳述流布行為との関係について3判決例を検討しました。平成14年2月は商標事件を中心としたホームページ上での標章の使用が認められた事例など。3月は部分意匠に対応した液晶表示に関するガイドラインと立体商標等の商標事件。4月は進歩性欠如、自明性事項など進歩性に関する事例。5月は進歩性判断の常套の検討方法、共同訴訟適格。6月は不正目的の商標登録出願など。7月は中古ソフト最高裁判決。8月は休会。9月はソフトの複製翻案、記者会見での虚偽発言の法的責任等。10月は著作権侵害と虚偽通告、特許を受ける権利にもとづく名誉権の侵害行為等でした。11月は休会し、12月は旅行会と研究会を兼ねて木更津の「龍宮ホテル三日月」で開催する予定です。

最近合格者も急増していますから、入会して戴ける平成以後の合格者が沢山参加して欲しいと願っ

ています。開催は下記の要領で行われています。

記

1. 開催日：

月例会：2月、3月、4月、5月、6月、7月、
10月、11月

研究旅行会：9月ないしは11月の期間で1回

新年会又は忘年会：12月又は1月のいずれか1回

休 会：8月と12月又は1月のいずれか1回の合
計2回

2. 場 所：原則として日本弁理士会館の会議室

3. 会 費：年10,000円

4. 参加費：お弁当代+お茶代：2,000円

旅行代：10,000円程度（旅費は含まれていません。）

新年会費若しくは忘年会費：

5,000円ないし10,000円程度

行事費用の不足分は会費より充当しています。

〔資料代〕原則として会の負担（会費より充当）

但し、インターネットでダウンロードできる資料は各自で入手することが原則。もし、インターネットから資料を入手できないときは会のよう
で準備します。開催日前にその旨のご連絡下さい。

我々は入会について下記のような要領で新会員を募集致します。

募 集 要 領

記

1. 入会資格：弁理士ならば誰でも入会可能です。

（会派、年齢、性別等は、不問です。）

2. 手続き：入会届は幹事長宛てに提出する 退会届は幹事長宛てに提出する

ファクシミリ番号の変更は変更日から速やかに
必ず幹事長に通知すること。

3. 入会問合せ/連絡先：

幹 事 長：鷹 取 政 信

（鈴榮特許綜合法律事務所）

電話：03-3502-9695

Fax：03-3501-5663

会計幹事：近 藤 利英子

（吉田特許事務所）

電話：03-3863-2071

Fax：03-3863-2072

庶務幹事：松 井 信 一

（松井国際特許事務所）

電話：03-3224-0184

Fax：03-3224-0186

第24回ボーリング大会報告

PA会 鈴木 利之

第24回日弁ボウリング大会は48名の参加により、平成13年12月12日（水）に田町ハイレーンで開催されました。

上位6名のトータルピンで争う各派対抗の団体戦は、トータル3,155ピンの春秋会が優勝し、平成9年度からの5連覇を達成しました。2位はPA会で、これも5年連続となりました。

3ゲームトータルピンで争う個人戦は、横山公一会員（春秋）が606ピンの好スコアで優勝し、2年連続4回目の優勝を達成しました。

レディース戦は玉利房枝会員（春秋）が423ピンで優勝しました。

さらに、ハイゲームの1位は横山公一会員（春秋）が236ピンで獲得しました。

詳しい成績は次の通りです。

【団体戦】

優勝	春秋会	3,155ピン
2位	PA会	2,982ピン
3位	南甲弁理士クラブ	2,449ピン
4位	無名会	2,366ピン
5位	稲門弁理士クラブ	2,090ピン

【個人戦】

優勝	横山 公一（春秋）	606ピン
2位	中尾 俊輔（春秋）	564ピン
3位	樋口 和博（春秋）	549ピン
4位	水口 崇敏（PA）	542ピン
5位	三上 結（PA）	513ピン
10位	矢崎 和彦（無名）	487ピン
15位	伊丹 勝（南甲）	446ピン
20位	清水 善廣（春秋）	412ピン
24位	三好 祥二（稲門）	398ピン

25位	柳生 征男 (南甲)	393ピン
30位	樺澤 聡 (南甲)	378ピン
35位	村上 友一 (無名)	335ピン
40位	西村 公芳 (稲門)	301ピン
45位	小西 恵 (稲門)	272ピン
B B	大倉奈緒子 (春秋)	263ピン

第6位 稲門弁理士クラブ 4.0点

【レディース戦】

優勝	玉利 房枝 (春秋)	423ピン
2位	杉本ゆみ子 (春秋)	335ピン
3位	久門 保子 (春秋)	295ピン

【ハイゲーム】

1位	横山 公一 (春秋)	236ピン
2位	水口 崇敏 (P A)	198ピン
3位	玉利 房枝 (春秋)	198ピン



第12回テニス大会報告

春秋会幹事

樋口 和博

平成13年度の日弁テニス大会は、平成14年3月9日に昨年同様、世田谷区北烏山の朝日生命久我山スポーツセンター・テニスコートで開催されました。P A会のみ2チーム、他会派は1チームのエントリーで、合計6チームが総当りのリーグ戦を楽しみました。

心地よい運動の後は全員で乾杯し、富崎日弁副幹事長の挨拶の後に、懇親会及び表彰式が始まりました。昨年度優勝のP A会は、今年も実力を維持し、本年度も優勝を勝ち取りました。各会派の幹事の先生は、自分自身のチームの実力を把握しつつ、少しでも上位入賞を期待していたようです。表彰式では、反省の弁あり、傲慢な弁ありと、たわいのない勝負事を楽しんでいたようです。

・試合結果

優勝	P A会 (Aチーム)	17.0点
準優勝	無名会	14.5点
第3位	春秋会	9.0点
第4位	南甲弁理士クラブ	8.5点
第5位	P A会 (Bチーム)	7.0点